

(様式1)

平成23年度 第4次総合計画進捗状況表

1 政策－施策

都市像	04 子どもの笑顔あふれる、ゆたかな学習・文化都市		
政策	03 子どもの視点に立った環境づくり		
施策	02 子どもたちが授業に集中できる環境を整備する		
めざす内容	教室環境などのハード面から学習環境などのソフト面まで、児童・生徒が授業に集中しやすい環境づくりをすすめて学力向上をめざすとともに、児童・生徒にとって安全・安心な学校環境づくりをすすめます。		
施策の取り組みの柱と方針			
<p>1 授業に集中できる施設環境の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不審者から児童・生徒を守る適切な施設・設備の充実につとめます。 ○オープン教室の活用の実態を調査研究し、効果的な活用の仕方について教員の研修の充実を図ります。 ○夏の暑さを和らげる工夫・配慮につとめます。 <p>2 学校生活を楽しく送れる環境の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童・生徒の子ども同士や教員との人間関係に留意するとともに、スクールカウンセラーの配置など、子どもたちの精神的なケアの体制も整えていきます。 ○給食費などの滞納によって児童・生徒が不安を感じるようなことがないように、家庭の状況にも配慮しながら家庭との連携につとめていきます。 <p>3 児童・生徒の学力向上の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国学力調査結果などを分析・考察し、学力向上に向けた対策を推進します。 ○教員の授業技術の向上につとめます。 <p>4 新学習指導要領への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2008(平成20)年度に改訂される学習指導要領に基づき、生きる力を基本理念としながら、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力を育むことをめざします。 <p>5 学校規模の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学区域や制度の見直しをおこない、学校規模の適正化や適正配置を図ります。 			
施策担当課	所 属 (部・課)		
	主管課	学校教育課	関連課

2 成果指標の実績とめざそう値

指標名及び指標番号	単位	現状値	2010	2012	2017	指標の意図・説明
			H22年	H24年	H29年	
59 授業に集中できないと感じる児童・生徒の割合	%	—	—	30	10	子どもたちの授業への集中を阻害する様々な要因に対する取り組みの効果を総合的にみよとする指標です。現状値はないものの、9割程度の子どもたちが授業に集中できる環境整備をめざします。
	取得方法または出典など	課による独自調査。(オープン教室活用実態調査)				
H22年度実績に対するコメント または指標値の把握が困難な場合はその理由		「課による独自調査(オープン教室活用実態調査)」は実施しており、活用状況は把握できるが、授業に集中できないことをオープン教室の形態等に理由があるか把握することは困難である。そこで、今後は指標が把握できるような別調査を実施していく。				

3 今後の展開方針

オープン教室活用実態調査の他に「別調査」の項目を、指標が把握できる内容にしていく。その際、課題がハード面、ソフト面のどこにあるのかがわかるような内容に検討して実施していく。